

PROGRAM

13:00-13:10

はじめに／趣旨説明

ごあいさつ(大阪府CIO兼スマートシティ戦略部長)



大阪府CIO兼
スマートシティ戦略部長
坪田 知巳

■イントロダクション

13:10-13:20

「豊能町が期待するOSPプロジェクト」
(豊能町長 塩川 恒敏 氏)



豊能町長
塩川 恒敏 氏

■コーディネーター企業等によるプレゼンテーション／質疑応答

13:30-17:00

子育てしやすいまちづくり 他

- ①江川 将偉 氏
(スマートシティ戦略スーパーアドバイザー)

インバウンド・観光の再生

- ②凸版印刷株式会社/藤井寺市
- ③日本電気株式会社/泉佐野市

大阪ものづくり2.0

- ④ソフトバンク株式会社

移動がスムーズなまちづくり

- ⑤アクセンチュア株式会社
- ⑥損害保険ジャパン株式会社/大日本印刷株式会社

子育てしやすいまちづくり

- ⑦NECネットエスアイ株式会社/日本マイクロソフト株式会社

高齢者にやさしいまちづくり

- ⑧株式会社日立製作所
- ⑨三井住友海上火災保険株式会社
- ⑩東和薬品株式会社

スマートヘルスシティ

- ⑪デロイトトーマツグループ
- ⑫TIS株式会社

安全・安心なまちづくり

- ⑬パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社



OSAKA Smart City Partners Forum

PROJECT

大阪スマートシティパートナーズフォーラム プロジェクト

成果発表会

2021.10.27 Wed.

13:00 START [close 17:00]

会場 リソナグループ大阪本社ビル地下講堂

オンライン参加はこちら▶▶▶



プロジェクトコーディネーター企業

大阪府スマートシティ戦略 スーパーアドバイザープロジェクト

スマートシティを手軽に始めるためのプラットフォームを提供します。(総務省・国土交通省 採択事業)

POINT IT人材不足・予算不足の自治体でも無料や低額でスマートシティをスタートできる**コンパクトスマートシティプラットフォーム(CSPF)**の 実装・実証を行い、全国で住民のQoLの向上および地方創生を目指す自治体を支援するプロジェクトです。基本となるCSPFは自治体に無償で提供されます。

コンパクトスマートシティが必要な理由：負のスパイラル構造



- 自治体の悩み**
 - (1) 住民が住みづらい (QoLの低下)
 - ・街の利便性が上がらず住民の満足度が低い
 - ・子供を安心して育てられる環境が整っていない
 - (2) 地方でビジネスをするメリットが少なく、新しい産業が起きない (雇用が生まれない)
- 税収の減少**
 - (1) 人口流出のより住民税が減る
 - (2) 新産業が生まれず法人税が減る
- 都市整備ができない**
 - (1) 税収 (収入) が安定しないため、都市整備の予算がない
 - (2) 自治体の悩みが深まる

結果、住民は大都市圏等の利便性の高い地域に移住する

公民共同で誰でも作れるスマートシティに向けて



NEC ネットエスアイ株式会社
MS&AD 三井住友海上
finnov valley
docomo
関西電力 power with heart

自治体



サービスから選ぶ!

住民

Before

After

サービス選ぶの簡単!



企業

住民向けサービスを考えましょう!



分科会でみんなで考える

- ・ サービス連携
- ・ データ分析
- ・ 新サービス開発

コンパクトスマートシティプラットフォームは日本をスマートシティ先進国にし、地域活性化を支援します

スマートシティ何からはじめたらいいの? IT人材もない、予算もない、...

コンパクトスマートシティプラットフォーム そんな簡単なスマートシティパッケージがあるのね!



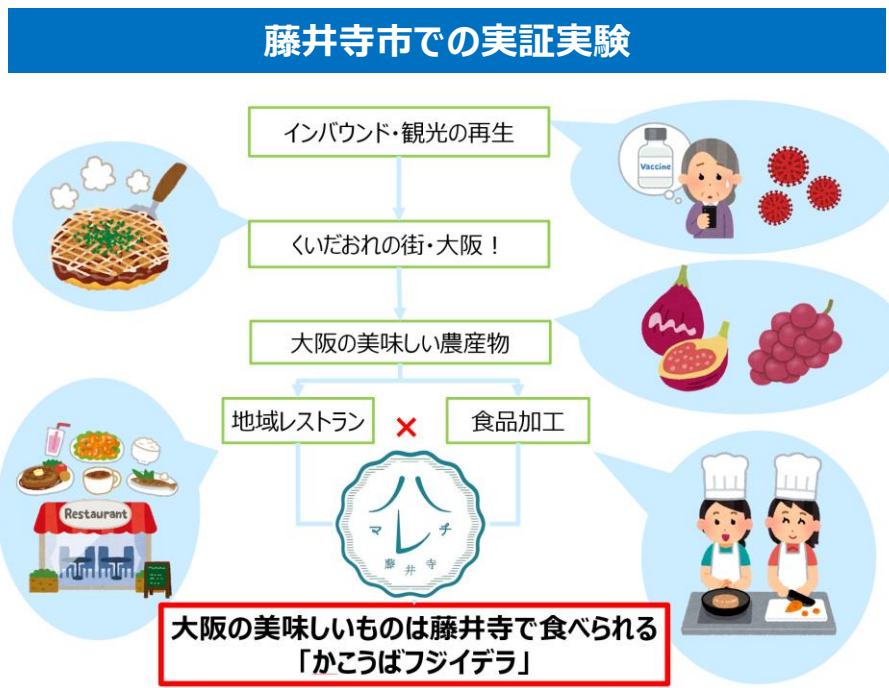
インバウンド・観光の再生 ～ 遠隔技術を活用した食農マッチングで『食』の観光コンテンツ開発し店舗集客 ～

藤井寺市での実証

- イベント会場
 - ・会場
アイセルシュラホール 1階ロビー
 - ・農園
太子町ぶどう農家・ロマンティック農園様
羽曳野市いちじく農家・七彩ファーム様
- 参加者
 - ・ハレマチフジイデラ傘下（のべ15店舗）
- 開催概要
 - ・7月28日(水)15:00～16:00
 - ・8月24日水曜日 15:00～16:00
 - ・農園主からのプレゼンテーション
（品種や生産に関するこだわり等）
 - ・各店舗ごとにヒアリング



■ お問い合わせ
凸版印刷株式会社
大橋 秀亮
hideaki.oohashi@toppan.co.jp



遠隔選択機能付きスマートグラス（開発中）



■ 藤井寺市との実証における成果品



■ 今後の予定

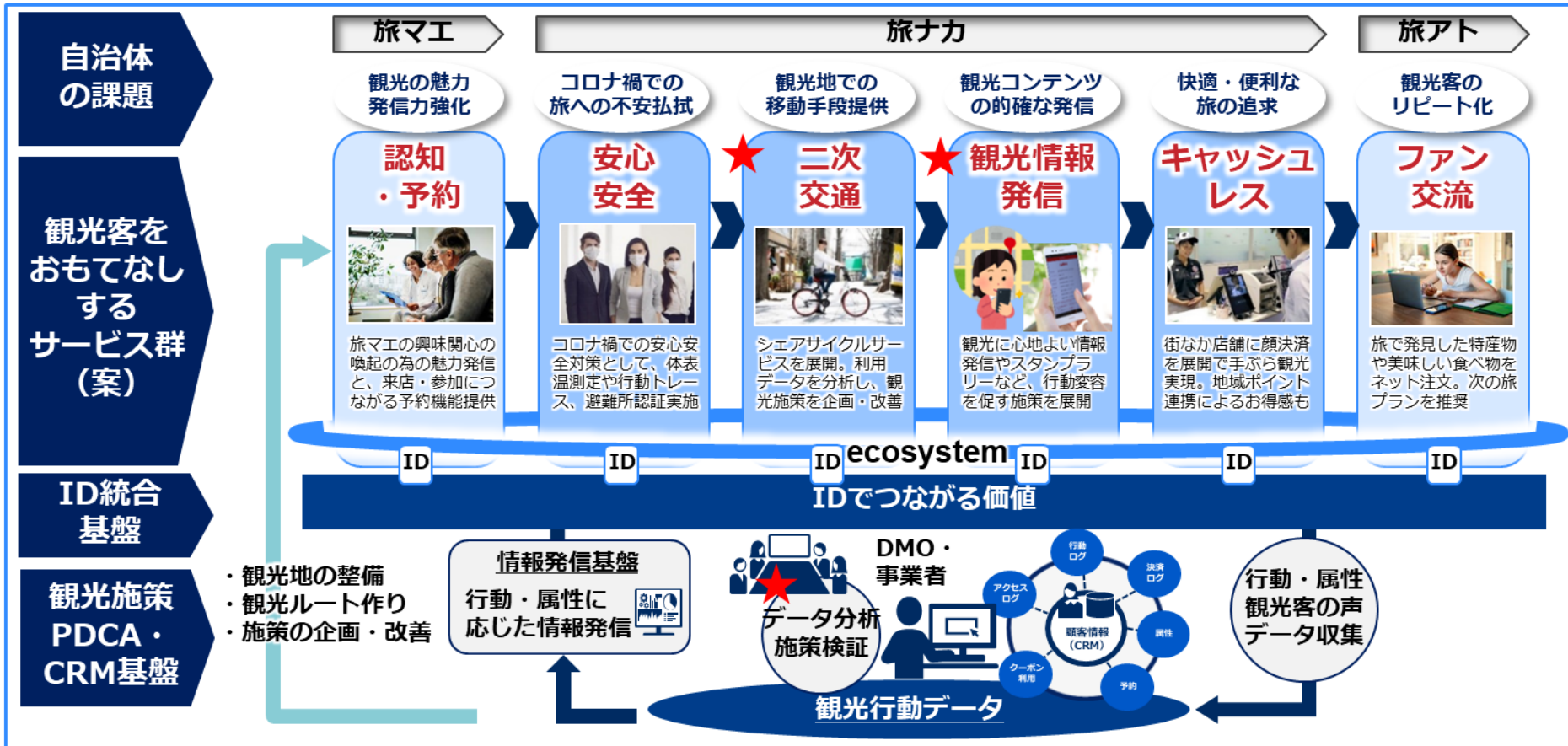
12月
フードストアソリューションズフェア出展
（泉州特産品、ハレマチフジイデラ商品）

2月
音声ガイドによる誘客実証

高齢者向けのバーチャル観光

OSPFにて“観光”分野で新たなビジネスを模索


シェアサイクルの位置情報を利用した情報発信など、観光客に“快適・便利・楽しい”様々なサービスを提供し、得られた属性・行動データから観光の課題解決を図る取り組み。



STEP UP による取組み	1Step (目安: 1年)	2Step (目安: 2-3年)	3Step (目安: 数年)
エリア	エリア限定で試行 (候補: 泉佐野市様)	複数エリアで検証	モデル化横展開によるエリア拡大
ターゲット	マイクロツーリズム試行	マイクロツーリズム+インバウンド試行検証	復活したインバウンド拡大への対応
サービスモデル	スモールスタートでの試行	他企業・他分野連携によるサービス拡充	観光プラットフォームモデル化

シャープ（株）が自社グループ会社用に開発した 基幹システムを中小製造業様にシェアリングにて利用 （月額利用料制）

5社にて実証実験へ

 基幹システム
(統合ERP)

会計管理
(財務会計&管理会計)

購買管理

在庫管理

生産管理

販売管理

SHARP

フル機能
提供

協力市町村様（第一弾）



OSPF
ものづくり2.0

SoftBank



SHARP

デジタル化
促進支援

必要部分
提供支援

株式会社和光製作所 様
(枚方市：家具・装備品製造)

株式会社ユーズテクノ 様
(枚方市：精密板金・製缶)

株式会社光栄プロテック 様
(枚方市：金属製品特殊表面処理)

エビス電子株式会社 様
(枚方市：プリント基板加工
・電子機器開発)

株式会社岡崎金型工作所 様
(枚方市：プレス金型・機械部品)

弊社の
目指すこと

イノベーションによって世界の人々の仕事と生活をより良くする
To become one of the world's leading companies, bringing innovations to improve the way the world works and lives.

本プロジェクトで
目指すこと

市町村と民間企業・教育機関等と共創し、大阪地域における「交通・移動」の課題を解決することにより、移動がスムーズなまちづくりを目指す

取組み内容：プローブデータを使用した『交通状況の見える化』実証実験

■ 市町村様における交通課題認識

大阪府内市町村様における共通的な課題として「交通渋滞」があげられます。

市町村様が抱える交通渋滞に関する課題

- 国道や府道等の大規模幹線道路は『**複数市町村にまたがる課題**』であり、個別市町村での渋滞対策では根本的解決が難しい状況である。
- 商用／建築車両が原因と予測しているが**確証がなく有効な対策が打てない**。
- 状況把握や交通総量削減策等の**ソフト面での検討が十分にできていない**。
- 主要鉄道駅前や商業施設周辺に**バス・タクシー・自家用車が多く乗り入れ渋滞が発生している**。

課題解決の方向性

渋滞発生個所における**移動データ**をもとに交通状況や流入経路を分析する
 • 分析結果から渋滞原因を明確化して、**効果的な対策の検討**につなげる
 • 結果を「見える化」し関係市町村および地域住民等に対し提供することで、**気づきを与え行動変容を促す**

■ 実証実験の対象地域選定

弊社にて「大阪高槻京都線（畑田～宇野辺）」の交通渋滞に着目。当該路線のある茨木市様においても交通渋滞について課題感を持っているとこのことであり、今回の実証実験対象エリアとして選定しました。



■ 実証実験の概要

連携企業として住友電工に協力いただき、保有するプローブデータを使用した『交通状況の見える化』を実証実験として実施しました。

対象車種	乗用車（ホンダ車）
対象年月	2021年6月1日～30日
集計単位（日種）	平日（月～金）、休日（土日）
集計単位（時間帯）	朝6-8時台、昼11-13時台、夕方16-18時台
対象エリア	茨木市（二次メッシュ数2）

① 通過台数分析

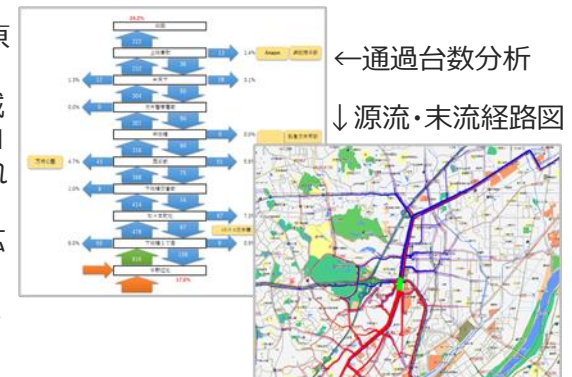
当該路線へ入った車両がどのように通過したか（もしくは流出したか）を集計することで、渋滞の要因となりうる車両の動きを分析する。

② 源流・末流経路図の作成

当該路線を走行した車両の源流・末流を把握して傾向を「見える化」する。

■ 実証実験の成果

分析結果をもとに、渋滞原因についての新たな気づきを得られることや、より広域での分析を行うことでマクロ観点での検討へつなげられる可能性を確認しました。当該手法をさらに深堀・拡大することで、府内の渋滞解消に向けた効果的な取り組みを幅広くご支援できると考えています。



移動サービスをモビリティポートで結び、人の交流を起こして地域活性に繋げる

市政100周年を迎える岸和田市まちづくり事業の活動と連携し、新しい移動手段と基幹交通が調和したモビリティポートによる“にぎわいの拠点”づくりに向けた実証実験を行います。
地産地消の経済拠点となる道の駅『愛彩ランド』を起点とした、新たな移動様式を検証します。



泉州山手 未来への懸け橋 プロジェクト ～ 次の100年へ、新たな拠点を作ります。～

100周年である令和4年度に向けて、モビリティポート（多様な交通機能をつなぐ交通広場）を整備し、公共交通の充実を図ります。

道の駅『愛彩ランド』にモビリティポートを併設し、郊外とまちとの循環を創り出すと共に、地域の移動・経済の活性化をめざすべく社会実装の検証を行います。



門真市様 児童の不安解消に向けた取り組み

<音声による感情分析サービス>

『外見』や『行動/挙動』の特徴観察に加え、より多角的に、一件でも多く「危険信号」を察知する為に、感情解析を補助分析ツールとして活用します。データ化する事で、生活環境の変化の兆候の早期発見を支援します。

【外見からの情報】

【行動/挙動からの情報】

【声からの感情情報】



- ・外傷、あざ、不自然なケガ
- ・服装や体のよごれ



- ・感情をコントロール出来ない
- ・攻撃性が高く、暴力等、極端な反応でしか物事を対処出来ない。

+



外見や行動観察だけでは察知が困難なSOSを、感情アラートとして対応者に可視化

我々は、一人でも多くの子どもの笑顔を守る事に貢献したい。

児童施設・地域交流センターの受付に端末設置を想定

子どもとの会話から感情を数値化

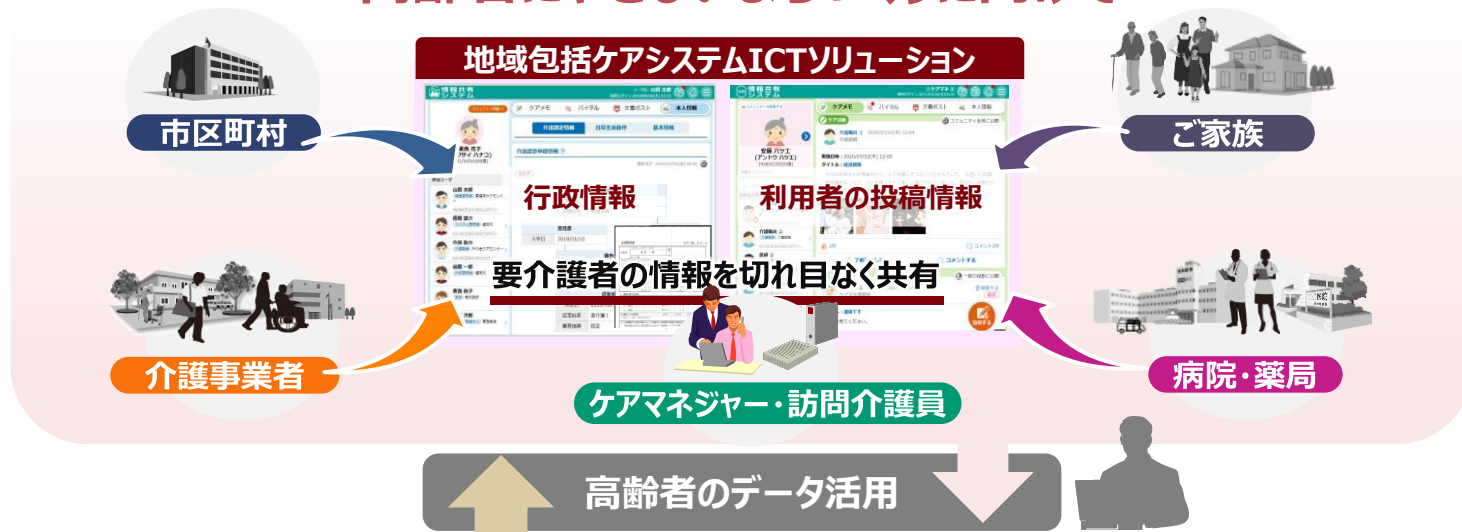


※こどもLOBBYにて実施調整中

「高齢者にやさしいまちづくり」ワーキング 「地域包括ケアシステムICTソリューション」の活用について

「地域包括ケアシステムICTソリューション」の活用により、大阪府の介護保険事業における課題解決に繋げることで高齢者とご家族のQoL向上、そして持続可能な介護保険制度への貢献をめざします。

高齢者にやさしいまちづくりに向けて



介護サービスの業務改善
(ペーパーレス、リモート化、情報共有)

新しい活用アイデア
+「フレイル予防の支援」 +「災害時の支援」

- 実証を通じて実業務での活用課題点や改善点を検証し、より実用性のある仕組みにします。
- 大阪府内の自治体に共通する課題解決に繋げるため、府域全体での活用可能性について検討します。

第1期プロジェクト：高齢者にやさしいまちづくり（金剛地区）

健康の三大要素「食事」・「運動」・「社会交流」に主眼を置き、健康寿命延伸と生涯現役社会の実現を目指します。
STEP1（買い物・社会交流、11月実証開始予定）→ STEP2（ICT機器活用）→ STEP3（健康づくり支援）



第2期プロジェクト：安全・安心なまちづくり

自然災害・感染症に対応する力があるまち

認知症に理解があり、
高齢者・子供・女性がいきいきと暮らせるまち

安全・快適な交通環境で暮らしやすいまち

防犯意識が高いまち



自治体×地域の住民×地域の企業による、「安全・安心なまちづくり」を目指します。

自治体様の課題解決ご支援を通じ、「地域社会との共通価値」を創造します

N対Nの展開

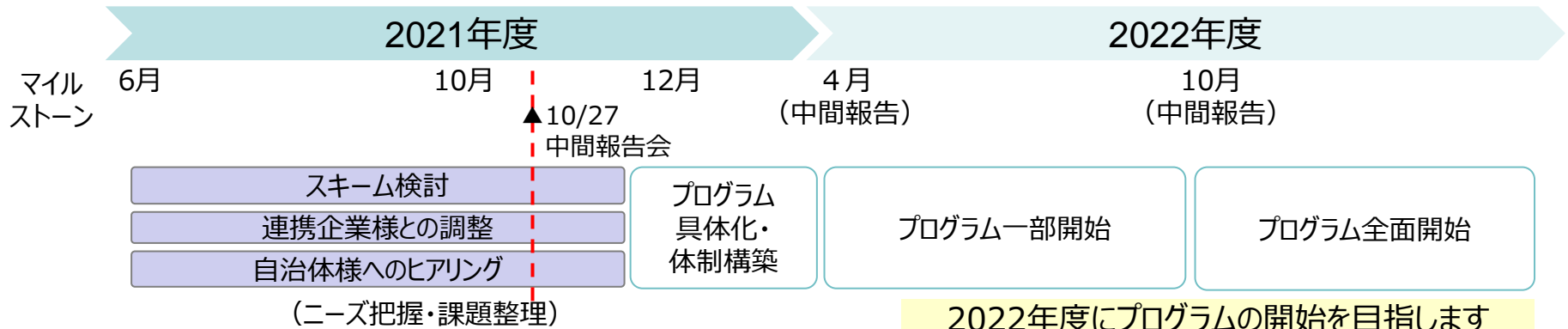
マネタイズ

これまでの活動と今後のスケジュール

- 5自治体様よりコンタクトを頂きヒアリング、課題整理を実施
- 大阪府を通じて4社以上の企業と連携協議、意見交換を実施
- 2022年度プログラム開始に向け、門真市様はじめ具体的な取り組み内容を協議中

分野	プロジェクト	スケジュール	実現目標	想定市区町村
高齢者にやさしいまちづくり	健康寿命延伸を目的とした認知症予防プロジェクト	協議中 ※下記参照	<ul style="list-style-type: none"> • 急速な高齢化の進展により、認知症対策が急務となっています。 • <u>認知症のリスクについて簡便な方法での可視化を目指します。</u> • <u>リスクの程度に応じて、認知症のリスク因子の低減を目的とした健康化プログラムを官民連携で企画し、取り組みの定着化を目指します。</u> 	門真市ほか (協議中)

■スケジュール（協議中）

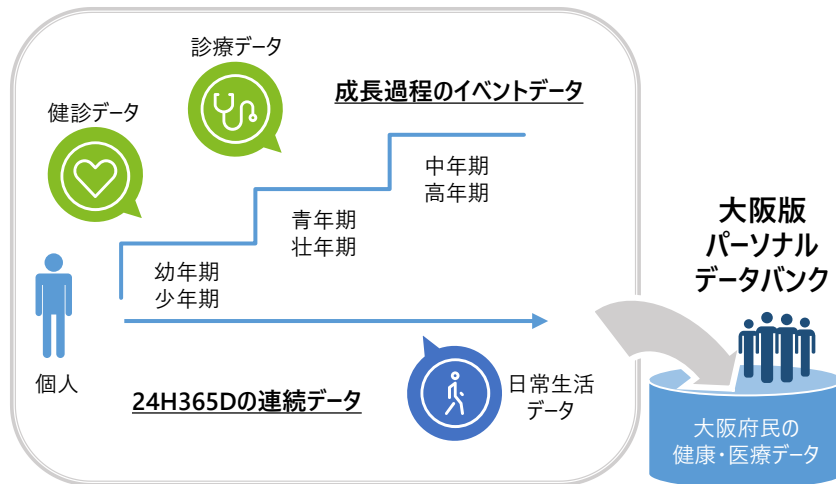


2021.10_Ver.1.0(DC-001974)

大阪スマートヘルスシティの目指す姿

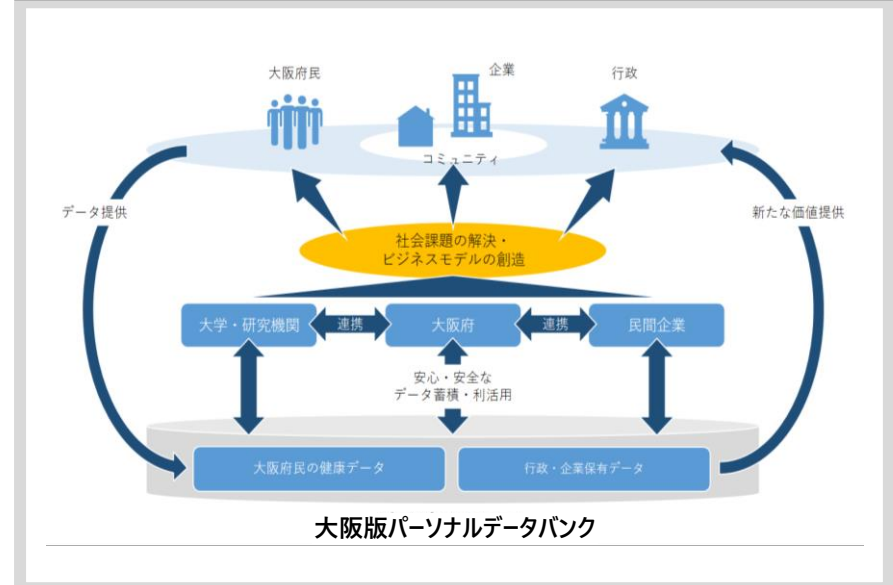
- ①大阪府民のQoL向上、②健康寿命の延伸を通じた社会保障費の適正化、
③大阪発・次世代型デジタルヘルスビジネスの創造を実現します

PHR事業



個人に紐づく健康・医療データを可視化することで、府民が自身の健康状態を把握し健康増進・疾患予防のための行動へ繋げることで**府民のQoL向上と健康寿命延伸を通じた社会保障費の適正化**を実現する。
また、**府民の健康データを継続的に蓄積・分析することが可能なデータ流通の仕組み**（データプラットフォーム・データ連携ルール等）を構築する。

ビッグデータ事業



蓄積されたデータを**安心・安全に**利活用し、**産官学横断で社会課題を解決**するとともに、**新たな次世代型デジタルヘルスビジネスを創出し**、府民の健康増進に寄与するだけでなく、**大阪発の新たなソリューションを世界に発信**する。

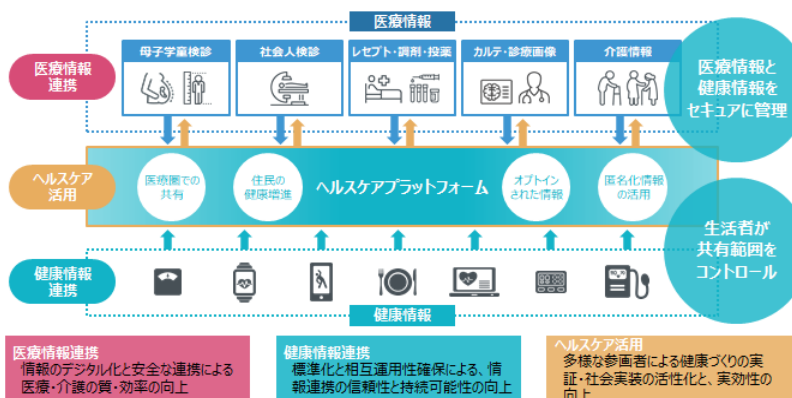


健康未行動者を健康増進に向き合わせる事で大阪府内の健康課題を解決し、生活者の意思でセキュアに情報共有できるプラットフォームを構築

具体的な
取組事項

- ① 健康課題解決（生活習慣病リスクの早期検知、重症化予防など）に向けたスマート化の取り組み
- ② 産官学民連携による自治体課題解決と大阪版PFS（Pay For Success：成果連動型民間委託契約方式）やSIB（Social Impact Bond：ソーシャル・インパクト・ボンド）モデルの検討・創出
- ③ コンセプトに共に取り組みたい様々なサービス事業者のPHRサービスをオープンに相互接続するプラットフォームの創出
- ④ 上記の実現に向けたオープンイノベーションの推進

生活者の意思でセキュアに情報共有できるプラットフォーム「ヘルスケアプラットフォーム」



今年度注力して取り組むプロジェクト

「毛髪健康チェックによる老化の原因である糖化たんぱくやストレス履歴の可視化の実証実験」



スマート防災ソリューションで、コロナ禍における避難所の運営課題を解決し、安心して暮らせるまちづくりと府民のQOL向上を図る。

